

市 民 生 活

AED

学校における屋外設置 関係部署と連携を図り検討を進める

丸金ゆきこ議員(チームいちかわ)

現在本市では、屋外にAEDを設置している公共施設はないが、誰もがいつでも使用できるように屋外設置を進めるべきだと考える。他市では、学校を中心にAEDの屋外設置を進めているが、本市の学校ではどのように進める予定なのか。

答 学校の外にAEDを設置することは、管理面での課題はあるものの、多くの市民が昼夜を問わず使用できるため有効であると考え。令和6年度中に予定しているAEDのリース契約の切り替えに合わせ、関係部署と連携を図り、協議を重ね、可能な限りAEDを屋外に設置できるように検討を進める予定である。

霊堂・合葬式墓地

市が認識している課題は 老朽化や抽選倍率の高さが課題

久保川隆志議員(公明党)

そこで、遺骨を一時的に預かる施設である霊堂や多くの遺骨と一緒に埋葬することができるとして市民の墓地に対しての考え方やニーズは変化してきていると考える。課題を認識しているのか。

答 霊堂については施設の老朽化が、合葬式墓地については、遺骨がない場合は10倍以上、ある場合でも約1・8倍と抽選倍率が高く、希望者が遺骨を預けることができない状況にあることが課題と認識している。市民のニーズ等を踏まえた整備が行えるよう、今後の霊園の在り方を検討していく。

自治会活動の支援制度

補助金制度の在り方工夫できないか 自治会の意見を聴いて検討したい

宮本均議員(公明党)

金がある。継続的な事業を支援している前者に比べ、後者は地域の独創的な事業を支援しており、利用が限定的である。どちらも「地域の活性化」が目的ならば、

両者を相互補完できる形にする、自治会のバス利用は前者の補助対象とせずに独自の補助制度を設けるなど、何か工夫ができないか。

答 両者とも補助目的は同じだが、目的達成のための対象が異なるものである。今後は、自治会の意見を聴きながら、制度の在り方について検討したいと考える。

自治会活動への補助金

上限額の引き上げを検討できないか 今後の活用状況など踏まえ研究する

国松ひろき議員(創生市川)

なるよう要綱の整備を進めるとの答弁がなされた。これを受け、多数の自治会から喜びの声を聞いているが、いつから対象となるのか。また、本補助金の上限額は

10万円と少ないが、市は引き上げを検討しているのか。

答 自治会によるバスの借り上げ料については、令和6年度から本補助金の対象となるよう、要綱改正に向けて、関係部署と協議を行っている。また、上限額の引き上げについては、今後の補助金の活用状況などを踏まえ、研究していきたい。

常 任 委 員 会 の 視 察

総務委員会

【日 程】

令和5年10月17日～18日

【視察地及び視察項目】

- ・豊川市 地域コミュニティ活動のICT化推進
- ・豊田市 DX推進の取り組み



豊川市

【主な視察内容】

豊川市は、ICTの活用により町内会活動の負担軽減と活性化を図るため、電子回覧板「結ネット」の運用を開始し、災害時における被災状況の発信や市の支援情報の収集のほか、回覧物の作成や配布の負担減などの効果をあげている。豊田市は、AI（人工知能）を用いたシステム「AI相談パートナー」や、窓口で来庁者が申請書を書かなくても住所異動の手続きができる「スマート窓口システム」を設置するなど、DX戦略・体制の整備を進めている。

環境文教委員会

【日 程】

令和5年10月18日～19日

【視察地及び視察項目】

- ・知多市 知多市学校教育情報化推進計画に関する取り組み
- ・静岡市 学校部活動の地域移行



知多市

【主な視察内容】

知多市は、知多市学校教育情報化推進計画（知多市版GIGAスクール構想）を策定しており、教育の情報化に関する基盤整備を行っているほか、児童生徒の情報活用能力の育成や、校務の情報化の推進などを図っている。静岡市は、持続可能な部活動の地域展開モデルである「シズカツ」を実施しており、近隣校ごとに複数のエリアに再編し、拠点校を中心に部活動を実施するエリア制を採用するなど、現在の仕組みを改める部活動改革を進めている。

健康福祉委員会

【日 程】

令和5年10月11日～10月13日

【視察地及び視察項目】

- ・萩市 (1)子育て世帯応援誕生祝金 多子世帯応援誕生祝金 (2)母子アプリはぎHAGU
- ・山口市 やまぐち子育て福祉総合センターの運営
- ・宇部市 宇部市発達障害等相談センター そらいろ



山口市

【主な視察内容】

萩市は、多子世帯に対し、誕生祝金を給付することで若い世代の移住・定住を促進するほか、育児や仕事に忙しい親に対し、アプリによる情報提供を行うなどしている。山口市は、やまぐち子育て福祉総合センターを設置し、教育、保育、子育て関係者が集える子育て支援のネットワークづくりを進め、子育て支援の更なる向上に取り組んでいる。宇部市は、市内に住んでいる発達障がい者などとその家族、支援者のための身近な相談窓口を開設している。

建設経済委員会

【日 程】

令和5年11月7日～9日

【視察地及び視察項目】

- ・伊丹市 中心市街地活性化基本計画
- ・春日井市 空き家対策
- ・掛川市 自動運転の実証実験



伊丹市

【主な視察内容】

伊丹市は、中心市街地活性化基本計画を策定し、内閣総理大臣の認定を受けた上で、中心市街地の活性化に向けた様々な取り組みを進めている。春日井市は、空き家・空き地バンクを運営するほか、様々な補助金制度などにより空き家対策を進めている。掛川市は、静岡県が進める「しずおか自動運転ShowCASEプロジェクト」の一環として、令和4年度に2度の自動運転実証実験を行い、今後は自動運転レベル4を想定した実験を予定している。

緑 地

真間山斜面林

整備工事後も樹木は保全されるか 極力伐採しない工法を採用している

石原よしのり議員(市民の力)

市内各地の公園や緑地で、樹木の保全は図られるのか。

答 樹木の伐採や剪定については、地域の実情に合わせ、作業



に至る判断基準を明確にする必要があると考えている。また、斜面林の緑地保全の重要性は認識しており、斜面崩壊対策工事の際は、極力樹木を残せる工法を選定し、保全に努めている。真間山斜面林の整備工事では、「地山補強土工法」を採用し、伐採する樹木が最低限となるよう努めている。

◆請願・陳情について◆

- ・請願とは、国や自治体などに意見、希望、要望を述べることです。憲法上、何人に対しても権利として認められています。
- ・陳情とは、一定の事項に利害関係を持つ人が実情を訴え、適切な対応を求めて国や自治体に要望を述べることです。

詳しくはこちら

